

平成27年度 航空機生産・輸出・受注額見通し

(一社)日本機械工業連合会が実施する「平成27年度機械工業生産額見通し調査」に関する調査依頼を受け、当工業会は会員企業24社の協力を得て「航空機生産・輸出・受注額見通し」の調査を実施した。

21年度に1兆円を下回った生産額は緩やかに回復していたが、25年度に大幅な増加をみた。その後も拡大が続き、26年度、27年度は1.6兆円を上回ることが、今回の調査で確認された。その要因として、26年度はBoeing787等の民間機向けの生産増を背景とした「機体部品」「エンジン部品」の増、27年度はP-1哨戒機等の「機体本体」及び民間機向け「エンジン部品」の増が挙げられる。

また、21年度に大幅に落ち込んだ受注額は、23年度以降、1兆円を大きく上回る受注傾向に転じていることが確認された。その要因は、26年度がBoeing787等民間機向けの増によるものである。27年度もP-1哨戒機等の「機体本体」及び民間機向け「エンジン部品」の増等により受注が堅調に推移していることから、今後の航空機生産は堅調に推移すると見込まれる。

調査結果の概要について、以下に記す。

1. 生産額

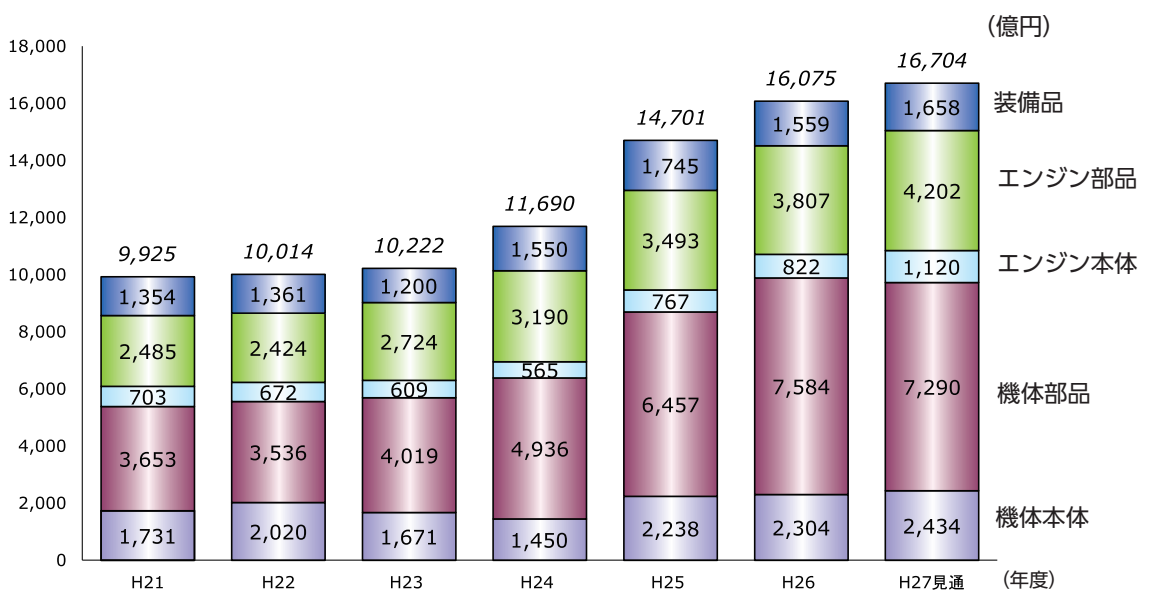
(1) 全般

◇「26年度実績額」は1兆6,075億円で前年

比1,374億円（9.3%）の増となった。

◇「27年度見通し額」は1兆6,704億円で前年比629億円（3.9%）増の見通し。

生産額の長期推移



生産額の長期推移

(単位：億円)

区分 \ 年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見通
機体本体	1,731	2,020	1,671	1,450	2,238	2,304	2,434
機体部品	3,653	3,536	4,019	4,936	6,457	7,584	7,290
(小計)	(5,384)	(5,556)	(5,690)	(6,386)	(8,695)	(9,887)	(9,724)
エンジン本体	703	672	609	565	767	822	1,120
エンジン部品	2,485	2,424	2,724	3,190	3,493	3,807	4,202
(小計)	(3,188)	(3,096)	(3,332)	(3,754)	(4,261)	(4,629)	(5,321)
装備品	1,354	1,361	1,200	1,550	1,745	1,559	1,658
計	9,925	10,014	10,222	11,690	14,701	16,075	16,704

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

(2) 内訳

①機体関連

◇26年度は、「機体本体」は防衛省向けF-35戦闘機の増等により66億円増の2,238億円、「機体用部品」がBoeing向け787用部品の増等により1,127億円増の7,584億円で、「機体合計」では、1,192億円増の9,887億円となった。

◇27年度は、「機体本体」は防衛省向けP-1哨戒機の増等により130億円増の2,434億円、「機体用部品」が防衛省向け部品の減等により294億円減の7,290億円で、「機体合計」では、163億円減の9,724億円の見通しである。

②エンジン関連

◇26年度は、「エンジン本体」は海外向けエンジン修理の増等により55億円増の822億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により314億円増の3,807億円で、「エンジン合計」では、368億円増の4,629億円となった。

◇27年度は、「エンジン本体」は防衛省向けエンジンの増等により298億円増の1,120億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により395億円増の4,202億円で、「エンジン合計」では、692億円増

の5,321億円の見通しである。

③装備品

◇26年度は、防衛省向けF-15近代化改修用レーダーの減等により、186億円減の1,559億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の増等により99億円増の1,658億円の見通しである。

2. 輸出額

(1) 全般

◇「26年度実績額」は1兆556億円で前年比1,735億円(19.7%)の増となった。

◇「27年度見通し額」は1兆981億円で前年比425億円(4.0%)増の見通し。

(2) 内訳

①機体関連 (機体用部品のみ)

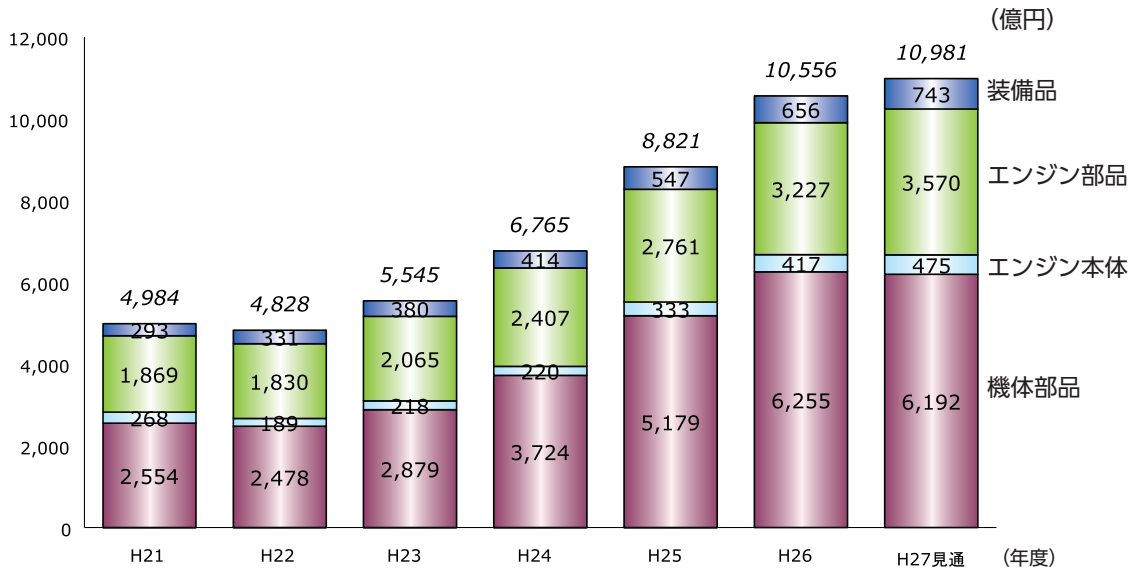
◇26年度は、Boeing向け787用部品の増等により1,076億円増の6,255億円となった。

◇27年度は、Boeing向け787用部品の減等により63億円減の6,192億円の見通しである。

②エンジン関連

◇26年度は、「エンジン本体」は海外向け修理の増により84億円増の417億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増によ

輸出額の長期推移



輸出額の長期推移

(単位：億円)

年度 区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見通
機体本体	0	0	3	0	1	0	0
機体部品	2,554	2,478	2,879	3,724	5,179	6,255	6,192
(小計)	(2,554)	(2,478)	(2,882)	(3,724)	(5,180)	(6,255)	(6,192)
エンジン本体	268	189	218	220	333	417	475
エンジン部品	1,869	1,830	2,065	2,407	2,761	3,227	3,570
(小計)	(2,137)	(2,019)	(2,283)	(2,628)	(3,094)	(3,645)	(4,045)
装備品	293	331	380	414	547	656	743
計	4,984	4,828	5,545	6,765	8,821	10,556	10,981

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

り466億円増の3,227億円で、「エンジン合計」では、551億円増の3,645億円となった。
◇27年度は、「エンジン本体」は海外向け修理の増により58億円増の475億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により343億円増の3,570億円で、「エンジン合計」では、400億円増の4,045億円の見通しである。

③ 装備品

◇26年度は、民間機向け内装品の増により

109億円増の656億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の増により87億円増の743億円の見通しである。

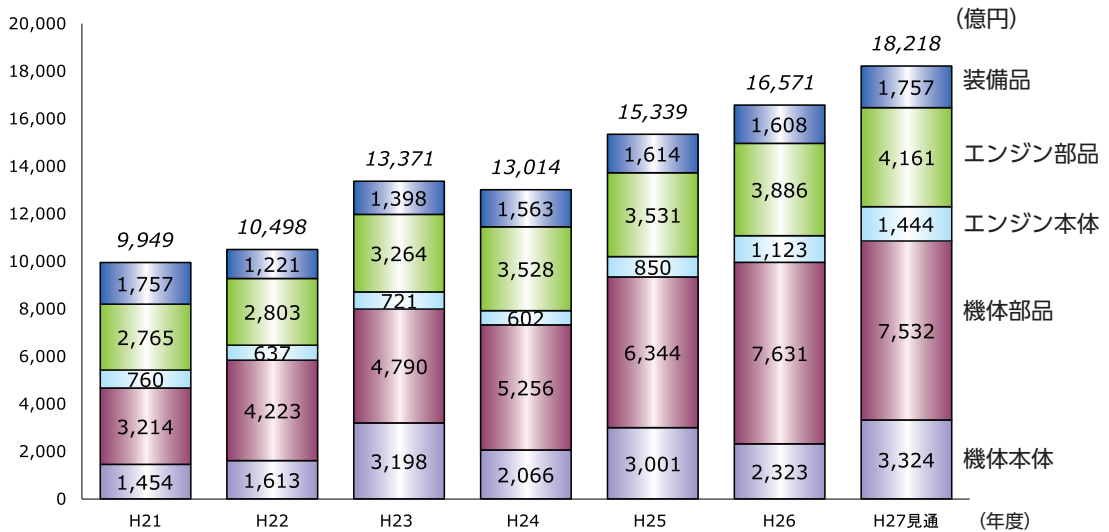
3. 受注額

(1) 全般

◇「26年度実績額」は1兆6,571億円で前年比1,232億円(8.0%)の増となった。

◇「27年度見通し額」は1兆8,218億円で前年比1,647億円(9.9%)増の見通し。

受注額の長期推移



受注額の長期推移

(単位：億円)

区分 \ 年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見通
機体本体	1,454	1,613	3,198	2,066	3,001	2,323	3,324
機体部品	3,214	4,223	4,790	5,256	6,344	7,631	7,532
(小計)	(4,668)	(5,837)	(7,988)	(7,321)	(9,344)	(9,954)	(10,855)
エンジン本体	760	637	721	602	850	1,123	1,444
エンジン部品	2,765	2,803	3,264	3,528	3,531	3,886	4,161
(小計)	(3,525)	(3,440)	(3,985)	(4,130)	(4,381)	(5,010)	(5,605)
装備品	1,757	1,221	1,398	1,563	1,614	1,608	1,757
計	9,949	10,498	13,371	13,014	15,339	16,571	18,218

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

(2) 内訳

①機体関連

◇26年度は、「機体本体」は防衛省向けF-35戦闘機の減等により678億円の減で2,323億円、「機体用部品」がBoeing向け787用部品の増等により1,287億円増の7,631億円で、「機体合計」では、610億円増の9,954億円となった。

◇27年度は、「機体本体」は防衛省向けP-1哨戒機の増等により1,001億円増の3,324

億円、「機体用部品」が防衛省向け部品の減等により99億円減の7,532億円で、「機体合計」では、901億円増の1兆855億円の見通しである。

②エンジン関連

◇26年度は、「エンジン本体」はF-35戦闘機用エンジンの増等により273億円増の1,123億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により355億円増の3,886億円で、「エンジン合計」では、629億円増

の5,010億円となった。

◇27年度は、「エンジン本体」はP-1哨戒機用エンジンの増等により321億円増の1,444億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により275億円増の4,161億円で、「エンジン合計」では、595億円増の5,605億円の見通しである。

③装備品

◇26年度は、25年度とほぼ同じレベルの1,608億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の増等によ

り149億円増の1,757億円の見通しである。

<調査対象企業：24社>

IHI、KYB工業、川崎重工業、小糸製作所、島津製作所、ジャムコ、昭和飛行機工業、シンフォニアテクノロジー、新明和工業、住友精密工業、東京計器、東京航空計器、東芝、ナブテスコ、日本航空電子工業、日本電気、日本飛行機、富士重工業、三菱重工業、三菱電機、三菱プレシジョン、横河電機、横河電子機器、横浜ゴム

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕